

# 第1学年国語科 学習指導案

平成26年2月3日(水)より

1年1組(男子12名 女子10名 計22名)

1年2組(男子12名 女子10名 計22名)

授業者 T1 渡邊 智穂

T2 森田 幸子

T2 宮崎 陽子

- 1 単元名** あそびの仕組みを知って、ことば遊びをしよう  
～「ことば遊びはくぶつかん」をひらこう!～

**教材名** 「ことばあそびをしよう」(東京書籍1年下)

## 2 単元の目標

○自分の好きな食べ物について、経験したことや想像したことをもとに順序を整理し、簡単な構成を考えて文を書こうとしている。(関心・意欲・態度)

○「ことばあそびはくぶつかん」で発表し合うためにこれまで経験したことや想像したことの中から書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。

(B 書くこと ア)

○自分の作成したことばあそびの中からお気に入りを選んで、「ことばあそびはくぶつかん」で発表し合い、良い所を見つけて感想を伝え合うことができる。

(B 書くこと オ)

○言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる

(言 イ (ウ))

## 3 単元について

### (1) 単元観

#### ①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第1学年及び第2学年「B 書くこと」の指導事項「ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄をみつめること。」「オ 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。」を取り上げて指導する。

#### ②単元を貫く言語活動とその特徴

「B 書くこと」の言語活動例「ア 想像したことなどを文章に書くこと」を具体化した、「大すきな食べ物をあつめてそうぞうしたことからことばあそびを作り、『ことばあそびはくぶつかん』でお気に入りのことばあそびを発表し、感想を伝え合う」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる『ことばあそびはくぶつかん』では、自分の作成することばあそびに必要な言葉を集め、聞きに来てくれた友だちに聞かせたり、見せたりする。子どもたちが「ことばあそびはくぶつかん」で取り扱う「ことばあそび」は、教科書教材を参考にした二つのことばあそびを参考にして作る。一つは「たべものうた」、もう一つは「なぞなぞ」である。これまでつくってきたことばあそびの中から自分のお気に入りのことばあそびを1つ選び、紹介カードをもとに気に入っているところを紹介し、自作の「ことばあそび」を読み合って交流し合う。児童は、自分の好きなたべものについて様子や食感などを日々の生活場面の中から思い出し、「○○うた」という題のもと、ことばあそびのうたを作っていくことで「経験したことや想像したことなどから書くことを決め書こうとする題材に必要な事柄を集めること」(B 書くこと ア)を確実に実現できるようにしている。また、はくぶつかんでは、グループごとに発表し合い、感想を伝え合っていく。「ことばあそびはくぶつかん」で交流するためには友だちの作ったことばあそびのよさを見付けることが必要不可欠である。このことは「オ 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。」(B

書くこと（オ）の実現に直結する。

本教材は、擬声語、擬態語、折り句を使ってことば遊びうたを作ったり、回文を楽しんだりすることで言葉への親しみを増すとともに、言語感覚を磨いていくことを目的としている。その際、教材にあることばあそびうたからその仕組みについても理解させ、擬声語や擬態語のリズムを楽しみながら意欲的に創作活動に取り組みせたい。言葉の楽しさを感じ取り、学習したことをもとに日常生活の中でも言葉に興味を持って過ごすことができるよう家庭学習とも連携させて活動を進めていきたい。

## （２）児童観

児童は、『「はへを」を使って文をつくろう』という入門期からはじまり、これまで、したことに題名をつけて文章に書いたり、身の回りのものをよく見て気づいたことを文章に書いたりする学習に取り組んできた。また、したことを思い出して会話を入れて文章を書いたり、時間の経過にしたがってしたことを順序よく書いたりすることにも取り組んできた。10月「わたしのはっけん」でははっけんカードをもとに文章を書く学習を行い、11月「じゅんじょよくかこう」では様子や気持ちを思い出して出来事の順に文章を書く学習を行った。その結果児童は書きたい出来事を決めて書いたり、最後に思ったことを書いたりすることはできるようになってきた。更に「サラダでげんき」「おとうとねずみチロ」のゴールで自分のおすすめや好きなところを書くことを学習してきたので、書くことについては抵抗がなく、ほとんどの子どもが自分の力で書くことができている。しかし、書く内容に関しては定着に個人差があり同じ事柄がくり返されたり、順序が逆になったりしまいがちである。各児童の持っている語彙数にも偏りが見られる。

本単元に取り組むにあたっては、日常の生活の中で言葉を集めながらそれらを確認していくことで、言葉の響きや感じ方を楽しみながら語彙数も増やしていきたい。

## （３）指導観

第一次では、教師が作成した「ことばあそびはくぶつかん」をひらくモデルを学級担任とともに紹介する。この単元では、ことば遊びの仕組みを知って『「ことばあそびはくぶつかん」』で交流し合うために、自分の生活の中から様子や体で感じた言葉やそのものの様子を表す言葉を集めて言葉遊びを作る（書く）”という学習のめあてをもつ。また身の周りの擬声語や擬態語にはどんなものがあるのか、どんな時に使うのかということを確認する時間を1時間設ける。

第二次からは、A・B1セット方式をとり、教材文で学んだことを自分の「ことばあそびうた」に活用していくことができるよう、授業を仕組んでいく。自分の「ことばあそびうた」を作るためには教材文の「たべものうた」がどんな仕組みになっているのかを知る必要がある。この仕組み（擬声語・擬態語+名詞）、（上の擬声語・擬態語は下の名詞を連想させるものであること）を学級みんなのものにすることで、次時の創作活動に向けて自信と意欲を持たせたいと考えている。また、擬声語・擬態語については今回の学習に向け、普段から意図的に児童に意識させるために「どんな感じがする？」とたずねてみたり、児童から出てきたことばを取り上げて少しずつためていくことで語彙を拡充していくことにつなげていきたい。その際学級ごとに言葉の宝箱を用意し、教室に掲示するなどして出てきたことばを加えていくことで語彙が増えていくことを児童が視覚的に確認できるようにする。そして、ことばあそび創作の際の参考にできるようにする。また、「なぞなぞ」についても折り句の仕組みを理解したうえで創作の時間を確保する。いずれも『読み』の単元同様「～するために今日の学びがある」という目的意識を持たせて取り組んでいく。第2次の最後の時間には創作したいくつかの「ことばあそびうた」の中から自分のお気に入りの作品を1つ選んで紹介カードを書く。カードには「〇〇うた」のどこが気に入っているのかそれはなぜか、気に入っているところを具体的に書く。このことで「ことばあそびはくぶつかん」を開くことができるよう備えるようにする。ペア交流の感想には「・ここがよかった・なぜなら…」という二つのことがらを簡単に書くことができるような「すてきカード」（付箋）を用意する。

第三次では、第二次で選んだ「ことばあそびうた」を友だちと紹介し合う。前半、後半に分け前半の時間をいっぱい使ってできるだけたくさん友だちの「ことばあそび」を聞くことができるようにする。グループごとに聞きに来てくれた友だちに「ことばあそびうた」を

しょうかいする。その際、感想は口頭で伝え合う。単元全体を通して身近な言葉を使って、楽しみながら言語感覚を磨いていきたい。

#### (4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を展開していく必要がある。そこで、導入では、教師が作成した『ことばあそびはくぶつかん』のモデルを見せ、単元のゴールイメージを具体的に示す。単元全体の学習の見通しを持たせることで目的意識をもたせ、楽しそう、自分もことば遊びを作ってみたいという思いを持たせて学習に取り組ませたい。児童は、普段の学校生活の中からことば遊びに役立ちそうな擬声語や擬態語を集めて語彙数を増やし、「ことばあそびはくぶつかん」で友だちと交流するために主体的に学習を進めていくと考えられる。

#### 4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・自分の好きな食べ物について、経験したことや想像したことをもとに順序を整理し、簡単な構成を考えて文を書こうとしている。
書く能力	・「ことばあそびはくぶつかん」で発表し合うためにこれまで経験したことや想像したことの中から書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めている。(ア) ・自分の作成したことばあそびの中からお気に入りを選んで、「ことばあそびはくぶつかん」で発表し合い、良い所を見つけて感想を伝え合っている。(オ)
言語についての 知識・理解・技能	・言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。

イ(ウ)

#### 5 専科として

今学期は、指定研究をもとに1年生の書く単元と3年生の読む単元を中心に取り組みを進めている。2学期後半、書く単元では2年生「2年一組はつめいじむしょ」、3年生「研究レポートを書こう」の学習において、学級担任と話し合いながら単元構想を作成した。その中で感じたことはやはり「読む」単元同様、「書く」単元でも目的意識を持たせ、単元のゴールを明確にしながらか単元を貫いていくことの重要さである。したがって本単元でも単元のゴールをはっきりとさせながら児童に目的を持たせ、語彙を増やしながらか意欲的にことばあそびに取り組んでいけるよう仕組んでいきたい。児童自らが主体的に活動するためには「分かった」「できそう」「やってみたい」という思いを持つことと、「できた」という実感、そして機を逃さない評価が重要になってくる。そこで日常からことば集めをすることで語彙についての個人差をできるだけ補うようにし、第二次の4時間目で誰もが意欲的に活動できるような準備を意図的に前時までに進めていきたいと考えている。そのためには2学期同様、既習事項を用いた家庭学習を出すことによって次の日への準備をする、復習をするといったかたちで言葉の力の定着へ向けて取り組んでいく。時間の最後に書く国語日記についても、単に感想といったことだけにとどまらず、めあてにそった振り返りができるよう、低学年から意識づけて書くことができるよう指導していく。

今回の「書く」ことについての提案授業によって校内で共通理解を図りながら研究を深めることができるよう、来年度へ向けて広げていくための足がかりとしたい。

## 6 単元構想図

### 単元を貫く言語活動

大すきな食べ物をあつめてそうぞうしたことばあそびを作り、「ことばあそびはくぶつかん」でお気に入りのことばあそびを発表し、感想を伝え合う。

#### ◇学習の流れ

##### 第一次

- 学習への意欲と見通しをもつ。
- ・「ことばあそびはくぶつかん」のモデルを見て、学習のめあてと計画を知る。
- ・単元のねらいを確かめる。
- ・擬音語、擬声語について知る。

##### 第二次

- 「たべものうた」の仕組みを知る。
- ・擬声語や擬態語と食べ物の名前が対応していることを知る。
- 自分の好きな食べ物で「○○うた」をつくる。
- ・「たべものうた」で学習したことを活用させて作成する。
- 「なぞなぞ」の仕組みを知る。
- ・折り句について理解する。
- じぶんで「なぞなぞ」を作り、お気に入りの決める。

##### 第三次

- 「ことばあそびはくぶつかん」へ向けて準備をする。
- ・これまで作成してきた作品から1つ選び、紹介カードに気に入っているところを書いて練習をする。
- 「ことばあそびはくぶつかん」を開き、交流する。
- ・自分の作品を紹介して感想をもらう。

#### ◇意識の流れ

##### 【児童の実態】

文の内容に関して定着に個人差があり、同じ事柄がくり返されたり、個人の持っている語彙数に偏りが見られたりする。

- ・ことばあそび、おもしろいな。
- ・リズムがついていて楽しいね。
- ・わたしもことばあそびをつくってみたいな。
- ・身の回りに様子を表す言葉がたくさんあるね。

- ・たべものうたのしくみが分かったよ。
- ・自分が食べる時はどんな感じがするかな、確かめてみよう。
- ・自分の好きな食べ物で作ってみたよ。
- ・「なぞなぞ」の秘密も見つけたよ。
- ・いくつかつくったけど、お気に入りはこちらだ。
- ・お家からも作ってきたよ。

- ・みんなに「○○うた」の楽しさが伝わるように練習しよう。
- ・ここが特に気に入っているから聞いてね。
- ・友だちの作品の感想を書くよ。ここがよかった、わけはね…。

### 単元で付けたい力

- ・書こうとする題材に必要な事柄を集め、経験したことや想像したことを書く力
- ・ことばあそびを交流し合い、良いところを伝え合う力

## 7 指導計画及び評価計画（全8時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     これからの学習のめあてを知ろう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による「ことばあそびはくぶつかん」を、見る。</li> <li>・モデルを見た感想を交流し合う。</li> <li>・単元の流れを知る。</li> </ul>	<b>【関】</b> 自分の作った『ことばあそび』を友だちと交流し合い「ことばあそびはくぶつかん」をひらくというめあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 (発言・行動観察)
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     音やようすをあらわすことばをあつめよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・擬声語、擬態語について知る。</li> </ul>	<b>【書】</b> 絵を見て想像を膨らませながら、音や様子をあらわすことばを考えながら書いている。 (発言・ノート)
第二次	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     「ことばあそびはくぶつかん」をひらくために「たべものうた」のしくみをしろう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・擬声語と擬態語と食べ物が対応していることを知る。</li> </ul>	<b>【書】</b> これまでに食べてきたものや想像したことなどから、書こうとする題材に必要な事柄を集めている。 (ワークシート、発言)  <b>【言】</b> 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いて「〇〇うた」を書いている。 (教材文、ワークシート、発言)
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     「ことばあそびはくぶつかん」をひらくためにとっておきの「〇〇うた」をつくろう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たべものうた」で学習したことを活用させてオリジナルの「〇〇うた」をつくる。</li> </ul>	
第二次	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     「ことばあそびはくぶつかん」をひらくために「なぞなぞ」のしくみをしろう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・折り句の仕組みについて理解する。</li> </ul>	<b>【書】</b> 身の回りのものに着目し、折り句に関連させて想像したことなどから、書こうとする題材に必要な事柄を集めている。 (ワークシート、発言)
	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     「ことばあそびはくぶつかん」をひらくために「なぞなぞ」をつくろう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぞなぞ」で学習したことを活用させて自分の好きな食べ物で「〇〇うた」をつくる。</li> </ul>	
第三次	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     「ことばあそびはくぶつかん」をひらくために、お気に入りを決めて、たのしさがつたわるようにれんしゅうしよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで作成してきた「〇〇うた」「なぞなぞ」からお気に入りを選び、1つ選んで、「ことばあそびはくぶつかん」で紹介するための準備をする。</li> </ul>	<b>【書】</b> 自分の伝えたいところを紹介カードに明確に書いている。 (紹介カード、行動観察、感想カード)
	8	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     しょうかいしたいな、ききたいな、「ことばあそびはくぶつかん」をひらこう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばあそびはくぶつかんをひらく。</li> </ul>	<b>【書】</b> 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合っている。 (発言、国語日記、行動観察)

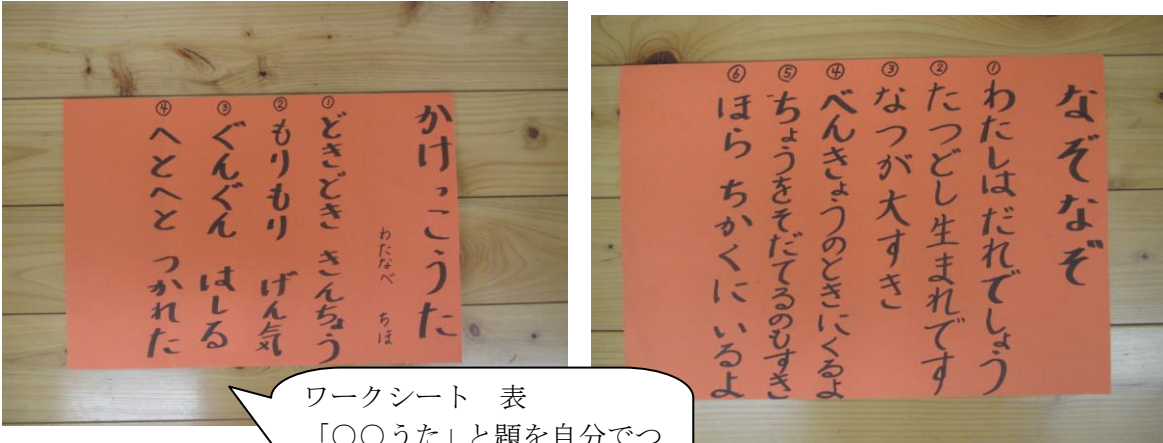
かけっこうた  
 ときどき きんちよう  
 もりもり げんき  
 ぐんぐん はしる  
 へとへと つかれた

にがてなむしのうた  
 もぞもぞ むかで  
 ちくちく けむし  
 もじやもじや くも  
 かさかさ ごきぶり  
 びりびり はち  
 ぐにゆぐにゆ みみず

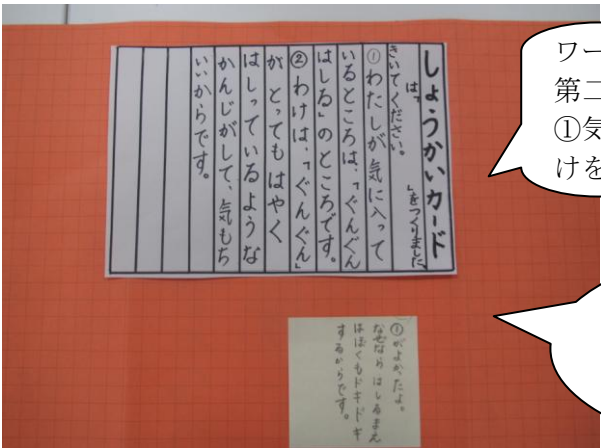
なぞなぞ  
 わたしはだれでしょう  
 たつどし生まれです  
 なつがだいすき  
 べんきよふのときにくるよ  
 ちようをそだてるのもすき  
 ほら、ちかくにいるよ

なぞなぞ  
 うなぎとおなじものがすきで  
 まっすぐはしるのがとくいだよ

〈言語活動のモデル〉「ことばあそび」



ワークシート 表  
 「〇〇うた」と題を自分でつける。擬声語・擬態語+名前・動き



ワークシート うら  
 第二次で書く「紹介カード」  
 ①気に入っているところ、②わけを書く。

ペアの友だちからもらう感想カード (付箋)  
 ①よかったところ  
 ②わけを書く。

## 8 本時の学習（1／8）

(1) 目標 自分の作った『ことばあそび』を友だちと交流し合い「ことばあそびはくぶつかん」をひらくというめあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     これからの学習のめあてを知ろう。                 </div>	<p>○これまでの学習を振り返り、いろいろなことばあそびを紹介し、本教材に向けて興味や意欲を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 「あそびはくぶつかん」を想像する。</p> <p>(2) 教師のモデル「ことばあそびはくぶつかん」を見る。</p> <p>(3) 「ことばあそびはくぶつかん」の内容について感想を出し合う。</p> <p>(4) 学習の流れを知る。</p> <p>3 なかまあつめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うごきのなかま</li> <li>・ 野菜のなかま</li> <li>・ おかしのなかま</li> </ul> <p>4 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語日記を書く。</li> </ul>	<p>○全校で取り組んだ「あそびはくぶつかん」を思い出させ、・じゅんぴをしたこと・前半後半に分かれて楽しんだことを思い出させる。</p> <p>○いろいろなことばあそびについて興味を持たせた上でモデルを提示する。学級担任と、「はくぶつかん」のひらき方を見せる。</p> <p>○ことばあそびの内容や交流の仕方について自由に感想を出させる。</p> <p>○乗り物、食べ物、動物などについて種類ごとに身の回りから探して発言させる。</p> <p>☆めあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 (発言・話し合い・国語日記)</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>家庭学習</b> 今日の晩ご飯のメニューについて様子を表す言葉を3つ集めてくる。</p> </div>	<p>○次時は様子や音をあらわす言葉について学習することを伝える。</p>

## 8 本時の学習（2／8）

(1) 目標 絵を見ながら想像を膨らませ、感じた音や様子について擬声語・擬態語で表すことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>みのまわりから</p> <p>からだにかんじた音やようすをあらわすことばをあつめよう。</p>	<p>○言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。</p> <p>○児童の家庭学習を紹介し、意欲を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 既習から、様子や音をあらわすことばについて振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨、風→耳</li> <li>・太陽→目</li> </ul> <p>(2) 象はどんなに歩くのか、歩く様子について出てきたことばをもとに話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体</li> <li>・個人（ノート）</li> <li>・ペア</li> </ul> <p>(3) 集めた擬声語・擬態語を確認する</p> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>○「ことばのきまり」を提示し、児童からできるだけ多く出させるようにする。</p> <p>雨、風、太陽など</p> <p>○体のどの部分で感じているのかを意識させる。</p> <p>○太陽はどんな感じがするのか簡単にノートに書かせる。</p> <p>○どんな感じがするのか児童がイメージできるように、具体的に話を広げるようにする。</p> <p>※全体交流で自由に出させ、それを参考にして個人で取り組むことができるように支援する。</p> <p>○できるだけ友だちの意見について返していけるように意識して広げるようにする。</p> <p>○動く感じについてもそれぞれの感じ方で表現が違ってくることを確認する。</p> <p>○擬声語・擬態語について、同じものでも感じ方によって表現の仕方が違ってくることを確認する。</p> <p>○「国語日記」として、ノートに今日のめあての振り返りを書かせる。</p> <p>☆擬声語・擬態語について生活の中から考えながら表現しようとしている。 (発言・話し合い・教材文)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>今日の夕ごはんの中からおいしかったものを3つ選び、どんなかんじがしたのかノートに書いてくる。</p>	<p>○次時は「ことばあそび」について学習することを伝える。</p>



## 8 本時の学習 (3/8)

(1) 目標 「ことばあつめはくぶつかん」をひらくという目的に向けて、「たべものうた」の仕組みについて、擬声語・擬態語と食べ物の名前を対応させながらうたのつくりについて理解することができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のゴールを確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div data-bbox="276 589 627 678" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 「ことばあそびはくぶつかん」 をひらくために </div> <div data-bbox="435 707 1153 775" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 「たべものうた」のしくみをしよう </div>	<p>○家庭学習に意欲的に取り組んでいる児童のノートを紹介し、評価することと関連付けてゴールを意識させる。</p> <p>○拡大版の教材文を掲示する。</p> <p>○題はかくしておき、教師の範読のあと予想させる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 「たべものうた」を音読する。</p> <p>(2) 掲示した「たべものうた」を見て気付いたことを言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切り取っているところがあるよ。</li> <li>・どんな言葉が入るのだろう。</li> </ul> <p>(3) 空欄にどんな言葉が入るのか想像して、理由と一緒に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア</li> <li>・全体</li> <li>・個人</li> </ul> <p>4 学習をふりかえり、「たべもの」のしくみについてまとめる。</p> <p>5 「たべもの」を音読する。</p>	<p>○次時の活動へ向けて見通しをもたせる。</p> <p>○音読した後、どう思ったのか簡単に感想を言わせる。</p> <p>○気付いたことを自由に発言させる。</p> <p>○先に食べ物の名前を出し、上にくるのか下にくるのか理由を付けて発表させる。</p> <p>○「つるつる」「うどん」はそれぞれペアで理由を話させ、全体指導で確認した後、「ほかほかの」「ごはん」は自分で組み合わせをさせる。</p> <p>※順序に迷っている児童には、みんなで確認したこと(音やようすをあらわすことばが先にくること)を再度確認し、これまでの文の流れからどちらの言葉から先にくるのかについて尋ね、支援する。</p> <p>○「たべもの」のしくみ(擬音語、擬態語+名詞)を全体で確認し、次時へつなげる。</p> <p>○仕組みの通りになっているのか確かめながら読ませる。</p> <p>☆語と語のつながりに注意しながらつながりをもたせるように言葉を書いている。 (発言・話し合い・ワークシート)</p>
<p>6 次時の学習について知る。</p> <div data-bbox="316 1906 742 2051" style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <b>家庭学習</b>          どんな「〇〇うた」にするか          考えて〇〇を一つ決めてくる。       </div>	<p>○次時は自分で「〇〇うた」を作って書くことを伝える。</p>

## 8 本時の学習（4／8）

(1) 目標 「ことばあつめはくぶつかん」をひらくという目的に向けて、前時の活動をもとにことばあそびうたのしくみを活用し、身の回りの擬声語や擬態語を集めてオリジナルの「〇〇うた」をつくることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のゴールを確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「ことばあそびはくぶつかん」をひらくために</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>しくみをつかって、とっておきの「〇〇うた」をつくろう。</p> </div>	<p>○単元のゴールをみんなで確認し、前時の活動からのつながりを持たせて本時への意欲化を図る。</p> <p>○しくみについて振り返る。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 家庭学習と絡めて、仲間ごとに出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼく、おやつで見つけてきたよ。</li> <li>・わたしは動物でいこうかな。</li> <li>・あ、～くんのいいな。やってみたいな。</li> </ul> <p>(2) ワークシートの書き方を確認する。</p> <p>(3) 自分で「〇〇うた」をつくる。</p> <p>4 自分が作った「〇〇うた」を音読し、ペアの人から感想をもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぐんぐん はしるの「ぐんぐん」がいいね。だって、走るのが速そうだから…。</li> <li>・ありがとう。</li> </ul> <p>5 学習の振り返りをする。</p>	<p>○家庭学習をもとにしながら、いろいろな仲間を出させて思考を広げることができるようにする。</p> <p>○これまで集めてきた宝箱を誰でも自由につかっていいことを伝える。</p> <p>○題、名前、行数は自由、上から書いても下から書いてもいいという、4つのことをおさえる。</p> <p>○机間指導をして進み具合を把握し、一つ出来上がった子どもには2枚目を取りに行くように意欲化を図る。</p> <p>※題で迷っている児童には食べ物や乗り物、おやつや遊びなどヒントを出してその中から選ばせ、好きなものを尋ねながら書けることを実感させ、支援する。</p> <p>○どの部分がよかったのか、理由を付けて返していけるようにする。</p> <p>☆これまでに食べてきたものや想像したことなどから、書こうとする題材に必要な事柄を集めている。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート、発言)</p> <p>○めあてにかえって、仕組みを使って書くことができたか確かめさせる。</p>
<p>6 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>自分のとっておきの「〇〇うた」をお家の人に音読してどこがよかったのか感想を書いてもらう。</p> </div>	<p>○次時は「なぞなぞ」のしくみについて学習することを伝える。</p>

(3) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆書こうとする題材に必要な事柄を集め、書くことを決めて「〇〇うた」を作っている。

ちくちく	つんつん	ひらひら	ぱたぱた	むし
はち	かぶとむし	が	ちようちよ	

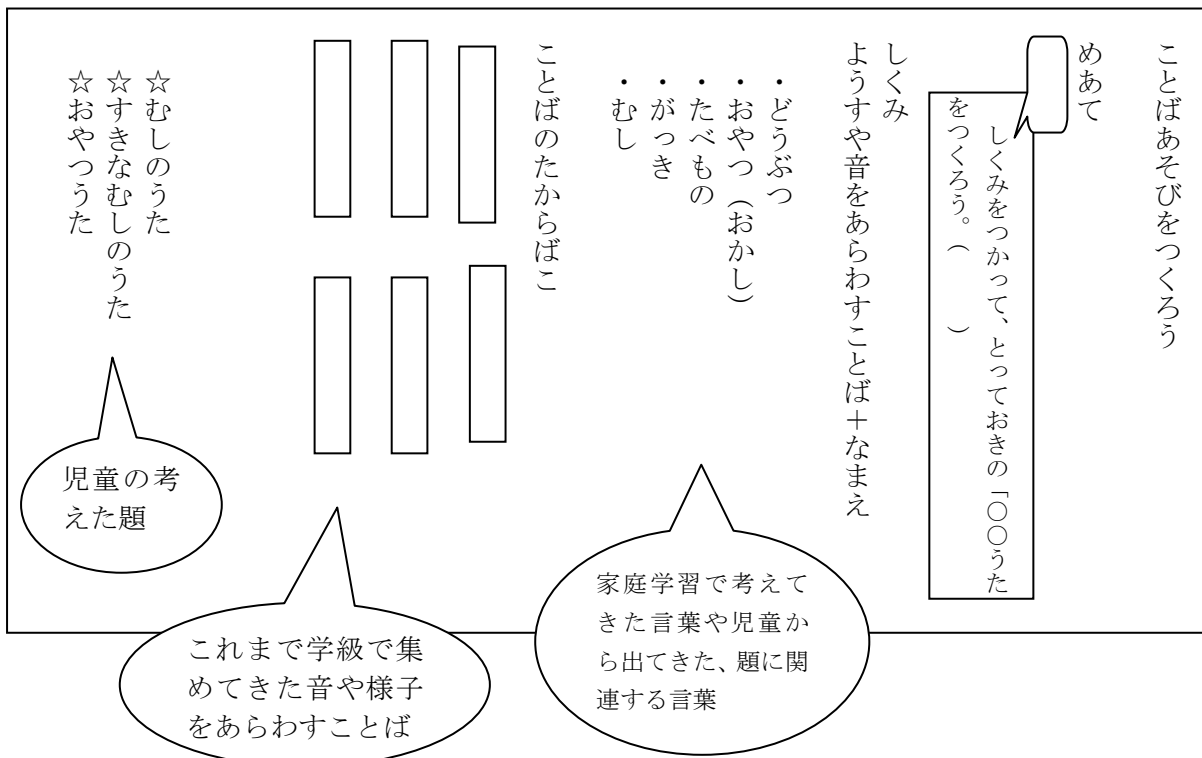
A 十分満足できる状況

◆書こうとする題材に必要な事柄を積極的に集め、関連する言葉を増やしたり、さらに焦点化させながら「〇〇うた」を作っている。

にがてなむしのうた	もぞもぞ	ちくちく	もじやもじや	かさかさ	びりびり	ぐにゆぐにゆ
むかで	けむし	くも	ごきぶり	はち	みみず	

むし	ぱたぱた	じーじー	つんつん	ちくちく	ごそごそ	のろのろ
ちようちよ	せみ	かぶとむし	はち	だんごむし	かたつむり	

(4) 板書計画



## 8 本時の学習（5／8）

(1) 目標 「ことばあつめはくぶつかん」をひらくという目的に向けて、「なぞなぞ」の仕組みについて、擬声語・擬態語と食べ物の名前を対応させながら折り句のつくりについて理解することができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 結論を音読する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div data-bbox="308 622 659 703" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 「ことばあそびはくぶつかん」 をひらくために </div> <div data-bbox="496 741 1037 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 「なぞなぞ」のしくみをしよう </div>	<p>○家庭学習に意欲的に取り組んでいる児童のノートを紹介し、評価することと関連付けてゴールを意識させる。</p> <p>○教師作成のモデルを見せる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 教材文を音読する。</p> <p>(2) 教材文を視写する。</p> <p>(3) 答えを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かたつむり」だね。</li> <li>・上の文字を見たら答えがわかるよ。</li> <li>・一行目は何のことをかいているのかな。確かに、かたりとも言わずに歩くね。</li> <li>・全体（一行確認）→ペア（他の行を調べる）</li> </ul> <p>(4) なぞなぞの仕組みをみんなで確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上の文字を読んでいくと答えになる。</li> <li>・一行を読むと答えに関係している。</li> </ul> <p>4 学習を振り返る。 国語日記を書く。</p>	<p>○答えを考えながら大きな声で音読させる。</p> <p>○答えを考えながら正しく視写させる。視写させた後は赤鉛筆で答えをノートに書かせる。</p> <p>○答えを確認し、なぜ「かたつむり」になるのか理由をあげて話をさせる。</p> <p>○しくみを一つ見つけたことを全員で確認し、こたえを見つけるためのヒントが他にもないか探させることで書かれている内容にもふれていく。</p> <p>※お話タイムの約束を話し、行ごとに何のことを指しているのか尋ねながら支援する。</p> <p>○一行ずつ答えに関連した事柄になっていることを確かめさせる。</p> <p>○モデルを提示し、一行ずつ「わたなべちほ」に関連しているのか確かめさせる。</p> <p>○なぞなぞの仕組みを整理してまとめる。</p> <p>☆折句をつくるという目的に向けて、教材文やモデルから身の回りのものに着目し、折句の仕組みについて考えている。</p> <p style="text-align: right;">（ノート、発言、対話）</p> <p>○めあてに沿って書かせる。</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div data-bbox="312 1890 740 2063" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>どんなことばで「なぞなぞ」をつくりたいか、考えて書いてくる。（ワークシート使用）</p> </div>	<p>○次時は自分で「なぞなぞ」を作ることを伝える。</p>

## 8 本時の学習（6／8）

- (1) 目標 「ことばあそびはくぶつかん」をひらくという目的に向けて、前時の活動をもとに「なぞなぞ」のしくみを活用し、身の回りの擬声語や擬態語を集めてオリジナルの「なぞなぞ」をつくることができる。

### (2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のゴールを確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div data-bbox="311 622 619 745" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 「ことばあそびはくぶつかん」をひらくために </div> <div data-bbox="379 752 1246 797" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> しくみをつかって、とっておきの「なぞなぞ」をつくろう。 </div>	<p>○単元のゴールをみんなで確認し、前時の活動からのつながりを持たせて本時への意欲化を図る。</p> <p>○しくみについて振り返る。</p> <p>○2つの仕組みを確認する。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 家庭学習と絡めて、仲間ごとに出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねこでつくろうかな。</li> <li>・すいかでいこうかな。</li> <li>・あ、～くんのいいな。つくってみたいな。</li> </ul> <p>(2) ワークシートの書き方を確認する。</p> <p>(3) 自分で「なぞなぞ」をつくる。</p> <p>4 自分が作った「○○うた」を音読し、ペアの人から感想をもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの仕組みが仕えているね…。</li> <li>・答えのことが分かるね。</li> </ul> <p>5 学習の振り返りをする。</p> <p>めあてに沿って感想を言う。</p>	<p>○家庭学習をもとにしながら、いろいろな仲間を出させて思考を広げることができるようにする。</p> <p>○長いものよりは、はじめは短いものから作っていくようにする。</p> <p>○題、名前、答えの文字数は4文字まで、上に答えを書いたらどこから書いてもいい、という4つのことをおさえる。</p> <p>○机間指導をして進み具合を把握し、一つ出来上がった子どもには2枚目を取りに行くように意欲化を図る。</p> <p>※内容をどうするか迷っている児童には、そのものになったつもりで書いてもいいことを伝えたり、答えから連想するような事柄を尋ねたりして、励ましながら支援する。</p> <p>○どの部分がよかったのか、理由を付けて返していけるようにする。</p> <p>☆折句を作る目的に向けて、身の回りのものに着目し、想像したことなどから、書こうとする題材に必要な事柄を集めている。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート、発言)</p> <p>○めあてにかえって、仕組みを使って書くことができたか確かめさせる。</p>
<p>6 次時の学習について知る。</p> <div data-bbox="316 1899 742 2074" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>「なぞなぞ」をお家の人に音読して、仕組みを説明し、どこが良かったのか、感想を聞いてくる。</p> </div>	<p>○次時はこれまでの学習をもとに「ことばあそびはくぶつかん」を開くための準備をすることを伝える。</p>

## 8 本時の学習（7／8）

(1) 目標 「ことばあそびはくぶつかん」をひらくという目的に向けて、自分の紹介したいとおきのことばあそびを選んで、事柄の順序に沿って簡単な構成を考え書くことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のゴールを確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 「ことばあそびはくぶつかん」をひらくために </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto; text-align: center;"> とっておきをえらんで、たのしさがつたわるようにじゅんびをしよう </div>	<p>○単元のゴールをみんなで確認し、前時の活動からのつながりを持たせて本時への意欲化を図る。</p> <p>○これまで学習したことばあそびを振り返る。</p> <p>○仕組みがあったことを確認する。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) これまで作成してきたことばあそびの中から一つ選んで紹介カードを書く。</p> <p>①自分の気に入っているとおきの行</p> <p>②気に入っている理由</p> <p>(2) 紹介の練習をする。</p> <p>(3) ペアの友だちに聞いてもらい、感想をもらう。</p> <p>①自分の気に入ったすてきな行</p> <p>②気に入った理由</p> <p>(4) グループに分かれて練習する。</p> <p>4 学習の振り返りをする。 めあてに沿って感想を言う。</p>	<p>○紹介カードに書くこと二つを確認する。</p> <p>※書くことに迷っている児童には、どこの行が気に入っているのか尋ね、そのわけを聞きながら、順序良く書いていけるように支援する。</p> <p>○自分で紹介する文と作成した言葉遊びを相手に伝わるように読んだり紹介したりできるよう、意識して練習させる。</p> <p>○相手の作品について感想を書かせる。ここでも、事柄の順序にしたがって感想を書くことができるようにする。</p> <p>○感想を伝えた後は、自分の気に入った行についての思いを作者から話をしてもらうことで、ペア対話の内容を深めることができるようにする。</p> <p>☆自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を意識して紹介カードを書いている。 (紹介カード、発言)</p> <p>○めあてにかえって、「ことばあそびはくぶつかん」へむけての準備ができたか確かめさせる。</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>明日の学習に備えてお気に入りを持って帰り、お家の人に音読し、紹介してくる。</p> </div>	<p>○次時はこれまでの学習をもとに「ことばあそびはくぶつかん」を開くための準備をすることを伝える。</p>

## 8 本時の学習（8／8）

(1) 目標 「ことばあそびはくぶつかん」をひらき、友だちの書いた作品の良いところを見つけて交流することができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のゴールを確認する。 (ホールにて)</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             ことばあそびはくぶつかんをひらいて         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             ともだちと、とっておきのことばあそびをこうりゅうしよう。         </div>	<p>○単元のゴールをみんなで確認し、前時の活動からのつながりを持たせて本時への意欲化を図る。</p> <p>○これまで学習したことばあそびを振り返る。</p> <p>○仕組みがあったことを確認する。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 「ことばあそびはくぶつかん」のひらきかたを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①一人ずつ作品を紹介する。</li> <li>②感想をもらう。</li> <li>③感想をもらった後返す。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①～③の繰り返し</li> <li>・おわったら、グループごとに空いているところへ移動する。</li> </ul> <p>(2) 「ことばあそびはくぶつかん」をひらく。</p> <p>4 ホールに集合し学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに沿って感想を言う。</li> </ul>	<p>○目的を持って主体的に活動出るよう、見通しを持たせてひらき方を確認する。</p> <p>○既習(昨日学習した返し方)を意識して活用できるようにする。</p> <p>※グループをまわり、①～③ができていることを確かめながら、③の返しが難しい児童にはどんな思いで作ったのか尋ね、よさについて話せるよう支援する。</p> <p>○グループを回っていて気づいたことを話し、よくできていた事柄(特に書いたものの良さを言っていたこと)について、評価する。</p> <p>☆書いたものを読みあったり、紹介し合ったりして、良いところを見つけて感想を伝え合っている。</p> <p style="text-align: right;">(行動観察、発言)</p> <p>○めあてにかえて、「ことばあそびはくぶつかん」で良いところをみつけることができたか確かめさせる。</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>本時について楽しかったことやできたことを国語日記に書いてくる。(ノート使用)</p> </div>	<p>○この単元で学習したことを普段の「書く」活動(日記や感想)の中に使って言葉を増やし、使っていくことを呼びかける。</p>